

HP 令和7年度 予算案

～市の7年度の予算案が決まり、開会中の市議会定例会に提案しています～

令和7年度の予算編成にあたっては、昨年公表した「今後の財政見通し」において、収支不足が見込まれる状況であったことから、「行財政改革推進プラン」に基づく対策を着実に実行し、健全な行財政運営に努めることを基本としています。限られた財源の中においても、選択と集中の視点を持ちながら、引き続き、喫緊の課題である人口減少への対策として、子ども・子育て、教育など未来に向けた施策を実施するとともに、誰もが幸せを感じられるまちづくりに向けた各種施策に取り組むこととしています。

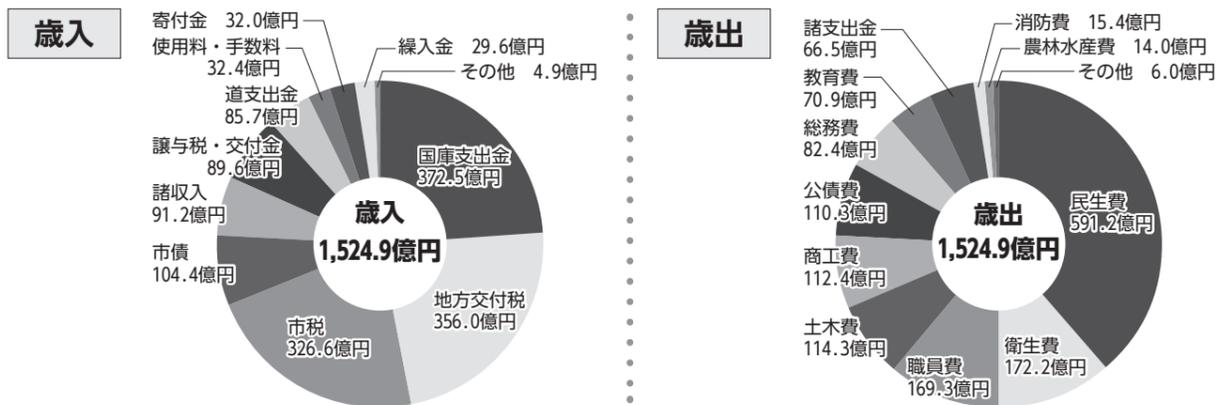
詳細はこちら



4つの分野を柱として予算を編成しています

- 未来をひらくひとを支えるまちをめざします**
- 地域経済を活性化します**
- 健康で充実した暮らしを支えます**
- 多くの人を惹きつける、魅力あるまちをめざします**

一般会計 行政の基本的な事業に要する経費を市税などを主な財源として経理する会計



特別会計 事業目的を限定し、特定の歳入を特定の事業に充てて経理する会計

(単位: 億円 △は減)

区分	金額	6年度当初予算額に比べ	
		増減額	増減率(%)
港湾事業	27.7	1.2	4.6
国民健康保険事業	258.2	△12.7	△4.7
自転車競走事業	348.7	70.0	25.1
奨学資金	0.2	-	△4.2
地方卸売市場事業	4.1	△0.1	△1.9
介護保険事業	319.1	△11.2	△3.4
発電事業	0.0	-	△2.3
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	1.5	0.3	19.6
後期高齢者医療事業	52.0	-	0.0
合計	1,011.5	47.5	4.9

企業会計 独立採算による特定の事業を経理する会計

(単位: 億円 △は減)

会計区分	収益的収支	資本的収支	合計	純利益純損失	資金不足額	一般会計からの繰入
水道事業	収入	49.0	22.0	71.0	△0.5	△28.9
	支出	47.2	42.6	89.8		
公共下水道事業	収入	79.8	34.1	113.9	10.1	△19.1
	支出	68.7	58.4	127.1		
交通事業	収入	15.7	5.5	21.2	△1.6	0.2
	支出	16.8	7.6	24.4		
病院事業	収入	265.3	25.2	290.5	△6.1	△31.3
	支出	271.4	33.7	305.1		
合計	収入	409.8	86.8	496.6	1.9	△79.1
	支出	404.1	142.3	546.4		

※「資金不足額」の項は、財政健全化法の資金不足額を表示しています。

令和7年度

市政執行方針 教育行政執行方針



函館市長 大泉 潤

本年は、私にとって、市長任期の折り返しの年です。「誰ひとり取り残さない」という信念のもと、幅広い分野において誰もが幸せを感じられるように取り組んできたまちづくりは、新たな可能性の芽が生まれてきています。

一方で、本市の少子化には歯止めがかかっておらず、まちの活力や都市機能を維持するために、少しでも人口減少を抑制しなければなりません。

安定した雇用の確保や子育てと仕事の両立しやすい環境整備が、多くの若年層の声です。私はそうした想いに応え、若者には選ばれるまちとな

るよう、また、あらゆる場面におけるジェンダーギャップ解消をめざし、取り組みを進めます。

このまちを発展させていくためには、デジタル技術の進展や再生可能エネルギー中心の産業構造への転換、社会的・文化的な価値観の多様性への理解など、こうした社会情勢の変化の流れを捉え、新しい取り組みへの積極果敢な挑戦が必要です。

函館を豊かで魅力あるまちとして次の世代へとつないでいくため、あらゆる可能性への挑戦を続け、このまちの未来を皆様とともに切り拓き、市民の幸福度向上に向け全力で市政運営に取り組めます。



教育長 藤井 壽夫

令和7年度に重点的に取り組む施策について申し上げます。

社会が大きく変化し、将来の予測が困難な時代において、誰一人取り残さず個々の可能性を最大限に引き出す教育の実現を目指し、学校に多様な人材を配置するなど、きめ細かな指導体制の整備を進めるとともに、ICTの効果的な活用による学習活動の充実を図ります。

地域とともにある学校づくりの推進については、休日の学校部活動の地域移行に向けた準備や拠点校方式による部活動を進めます。

「函館への愛着や誇りと未来へ飛躍する力の育成については、函館で活

躍した人物に焦点をあてた中学生向け歴史人物読本を作成します。

心の豊かさを育む文化芸術の振興については、「市民創作『函館野外劇』」等を支援するとともに、「文化芸術団体の自主的かつ活発な活動を支援します。」

健やかな心身を育む運動やスポーツの振興については、全ての市民が自分に適した運動やスポーツに出会える環境を整えるとともに、健康意識の向上に努めるほか、緑の島へのスケートボードエリアの開設やサッカーリーグの開催時期の変更を受けて、プロチームの合宿誘致に取り組めます。

全文はこちらから



教育行政執行方針 市政執行方針

医療・健康増進

がん患者の医療用補正具の購入費の助成を拡充するほか、50・55・60歳の带状疱疹ワクチン接種を助成します。また、若年層や後期高齢者などの歯科健康診査の充実を図ります。



教育環境の充実

市立小学校等への常設型エアコンの段階的な整備を進め、快適な学習環境の確保を図るほか、特別支援教育支援員の増員など、教育上特別な配慮を要する児童生徒への対応に引き続き取り組みます。



子どもの居場所づくり・学習支援

小学生への学習支援、中高生の学習環境の確保や地域食堂の実施など、子どもの多様な居場所づくりを進めるほか、生活困窮世帯の中学生に対する学習支援事業を実施しています。



地元定着の促進

市内中小企業等に正社員として就職する方に対する奨学金返還支援や高校生に向けた地元企業の魅力発信など、若者の地元就職につながる取り組みを進めます。



一次産業の振興

イカ釣り漁業への支援や天然コンブの藻場造成、養殖研究などによる漁業振興、グリーンツーリズムなどによる農業振興のほか、担い手不足解消を図り、農林水産業の持続的発展につなげます。



高齢者福祉

地域包括支援センターにおける相談支援や高齢者交通料金助成、介護人材の確保に引き続き取り組むほか、介護保険の要介護認定システムのデジタル化により迅速なサービス提供につなげます。



GXの推進

地域の脱炭素化と関連産業の振興を図るグリーントランスフォーメーション(GX)について、再生可能エネルギーの活用やエネルギーの地産地消、函館港の脱炭素化や活用などの調査・検討を進めます。



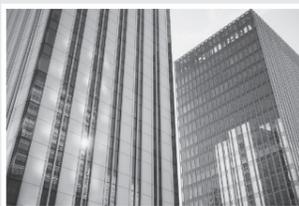
スポーツの振興

緑の島にスケートボードエリアを暫定設置するなど、アーバンスポーツの普及振興を図るほか、プロサッカーチームの合宿誘致に取り組むなど、スポーツの振興と関係人口の拡大を図ります。



市街地再開発事業等の推進

棒二森屋店跡地の市街地再開発事業の支援や再開発ビル内に整備する公共施設の基本計画策定に向けた検討を進めます。また、歴史的建造物の活用促進を図るなど、魅力あるまちづくりに取り組みます。



PICKUP

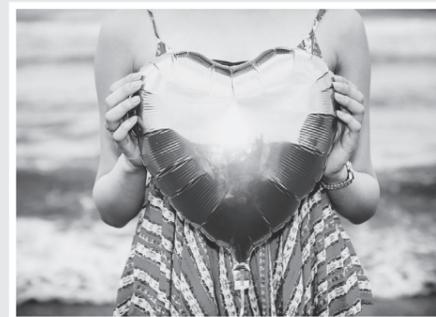
地域経済の活性化



若者を中心とした転出超過が続いており、生産年齢人口の減少に歯止めをかけ、労働力を確保し、経済の持続可能な発展へと変革を進めることが重要です。企業のDX推進や食品関連事業者の商品開発の支援、企業立地促進条例補助金の拡充などにより地域企業の活性化を図るほか、短時間就労などのニーズに基づいた潜在人材の掘り起こしによる地元雇用の増加に取り組むなど若者や女性、高齢者などが働きやすい環境の整備を進め、稼げる産業の育成や働きがいのある仕事の創出を進めます。

PICKUP

ジェンダーギャップの解消



若者や女性に選ばれるまちななるよう、性別にかかわらず、誰もが働きやすく、働きがいのある職場環境づくりなど、あらゆる場面におけるジェンダーギャップの解消を目指します。このため、施策等の助言や提言をいただくアドバイザーの設置とともにジェンダーギャップ解消プロジェクトを立ち上げ、ワークインベーションの推進に向けた企業セミナーの開催など、家庭や職場などの性別による固定的な役割分担意識の解消に向けた取り組みを進めます。

公立はこだて未来大学の独自無償化

入学時3年前から生計維持者が函館市、北斗市、七飯町に継続して住所を有する学部生を対象として授業料・入学金を無償化し、保護者の経済的負担の軽減を図っています。



新幹線の函館駅乗り入れ調査

昨年3月に公表した調査結果を踏まえ、乗り入れケースを絞り込み、その実現に向け、引き続き関係機関との協議を進めるとともに、札幌開業の早期実現に関係機関とともに国などへ要望します。



第2子以降の保育料無償化など

認可保育施設における第2子以降の保育料を所得制限なく無償化しています。また、小学校入学時の祝金の支給など、子育てにおける経済的負担の軽減を図っています。



これが令和7年度の函館市です

主な事業紹介